

青少年生浜

伸びよう 伸ばそう 青少年

令和6年2月14日

発行 生浜中学校区青少年育成委員会
編集 青少年育成委員会広報部
電話 043(268)2200~1

生浜中吹奏楽部による
演奏



ふれあい祭り

アイスブレイク



縁日



「ふれあい祭りを終えて」

健全育成部副部長 米城 翔

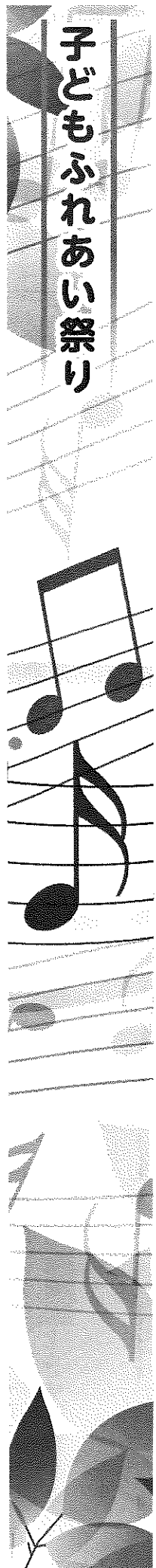
十一月二十三日(木)に生浜中学校区青少年育成委員会主催(五校PTA連絡協議会共催)による第十八回「子どもふれあい祭り」が、千葉市立生浜中学校体育館・校庭で行われました。

本年は天候に恵まれ、グラウンドゴルフを含めた全てのイベントを行うことができました。体験活動カードを用いた内容で、各ブースの内容が大変充実していて、子どもたちが熱中してイベントに取り組む様子を見ることができました。

私自身も生浜中学校区の出身で、子どもの頃にふれあい祭りに参加した経験があります。大人になってからは二回目の参加となりますが、今回は、こうして年月が経って再びこのふれあい祭りに携われる喜びだけでなく、運営の大変さや関係者のご協力への感謝の気持ちを感じながら参加させていただきました。参加してくれた子どもたちの中から私と同じような子どもが出てきてくれることを願って、今後も青少年育成委員会の活動に尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、健全育成部を代表し、今回のふれあい祭り開催に際してご尽力いただいた各地域・諸団体の皆様、学校関係者の皆様、PTA関係者の皆様、青少年相談員の皆様に感謝申し上げます。

子どもふれあい祭り



ふれあい祭りで演奏して

「ドキドキわくわく ふれあい祭り」

「楽しかったグラウンドゴルフ」

「初めてのふれあい祭り」

「二回目のふれあい祭り」

生浜中 二年 菅 倭音

生浜小 四年 吉村 菜乃果

椎名小 四年 小野塚 侑弥

生浜西小 五年 林 優和

生浜東小 五年 米城 絢里

私たち吹奏楽部は、「こどもふれあい祭り」で四曲演奏させていただきました。中でも盛り上がったのが「ジャンポリーミッキー」でした。この曲では、聞きに来てくれた小学生たちが、この曲に合わせて元気よく踊ってくれました。さらに会場からのアンコールでもう一度演奏をし、二回目は一回目よりも多くの小学生たちが踊ってくれました。

私は、初めて「ふれあい祭り」に行きました。ドキドキもしたけれど、わくわくもしました。

初めて子どもふれあい祭りに参加しました。一番楽しかったのは「グラウンドゴルフ」でした。初めはどうやってボールを打てばよいのか分からなくて、ステッキを反対に持ってプレーをしました。しかし、プレーの途中からこつをつかんでくると、どうしたらゴールすることができるのか考えて打つことができました。

ぼくは、初めての「ふれあい祭り」に行きました。その中で楽しかったことは、「スーパードールすくい」です。やる前は、すぐにボーイが切れてしまいが、難しいと思いました。でも、実際にやってみると、意外とたくさん取れてとても楽しかったです。

私がふれあい祭りに参加するのは、昨年が続いて二回目です。今年は去年と違って天気も良く、たくさんの人でにぎわっていました。

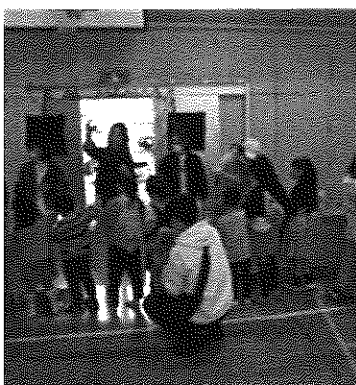
会場全体が一つになり、とても盛り上がりました。私たち吹奏楽部にとっても、楽しい時間となりました。ありがとうございました。

そのあとの体験活動では、まず緑日コーナーに行きました。縁日の中で一番楽しかったのは「かたぬき」です。失敗したけれど何回もやりました。くやしかったけれどよい思い出です。次にスライム作りをしました。わがままをいって色を混ぜてもらいました。色をつけてくれる人がとてもやさしかったので、最初はドキドキしたけれど、とても楽しかったので、また来年も参加したいです。

来年はラストチャレンジを達成できるようにしたいので、また子どもふれあい祭りに参加したいと思います。

もう一つ楽しかったのは、「コイン落とし」です。一回目はコップに入らなかつたけれど、二回目、三回目はどちらも入ってうれしかったし楽しかったです。型抜きが難しく苦戦しました。型抜きの形は簡単に見えたけれど、やってみるととても難しく、ぜんぜんできませんでした。でも、楽しかったのでよかったです。

私がふれあい祭りに参加するのは、昨年が続いて二回目です。今年は去年と違って天気も良く、たくさんの人でにぎわっていました。一番楽しかったのはクリスマスリース作りです。毎年ふれあい祭りで作ったリースを家のツリーに飾っているのですが、今回も飾ることを楽しみに、昨年とは違う色やビーズを使って作りました。他にも、スライム作りやかたぬきをして楽しみました。かたぬきは何度も同じ場所を削るところが難しかったです。毎年私たちが楽しめるようにたくさんの人たちが準備をしてくださることに感謝し、来年もふれあい祭りに参加したいです。



第22回 児童・生徒の夢を育む 標語コンクール

テーマ 「新しい価値観」

椎名小学校 四年

特選 藤原 大叶 今年から みんなの笑顔が 見れる日々
 優秀 沼澤 空 よろしくね 守ってくれよ ヘルメット
 優秀 内海 隆也 気をつける 夜のスマホで ねぶそくだ

椎名小学校 五年

特選 鈴木 結菜 人々は 一人一人に 個性がある
 優秀 杉田 遠成 友達が いなくなったら ぼつちです
 優秀 高梨 夏芽 自分はね 中心ではなく 社会の一人

椎名小学校 六年

特選 吉田 唯莉 大丈夫 落ち込む君に 思いやり
 優秀 久賀 梓沙 人前で 得意になった シャベること
 優秀 馬場 美希 逃げだしたい この空間に 推しの声

生浜西小学校 四年

特選 北島明琉斗 おたがいの 考え話し みとめ合う
 優秀 市川 凜 人によって ちがう心 それでよい
 優秀 野田 零 価値観は それぞれちがいがい 認め合う

生浜西小学校 五年

特選 石井南奈子 みんなちがう それぞれの意見 大切に
 優秀 尾形 佳子 人それぞれ 大切にすれば たから物
 優秀 竹山 煌星 人のこと 差別するのは やめようか

生浜西小学校 六年

特選 須藤 紗耶 価値観は 十人十色 分かり合い
 優秀 本堂 颯人 価値観は 人それぞれで 大切なもの
 優秀 倉本穂乃華 いいところ それぞれ合わせて 協力を

生浜東小学校 四年

特選 淵上 瑠煌 友達はお金持ちでも 買えないよ
 優秀 飯高 杏奈 この人を はじめてしまった このせいかく
 優秀 酒井さくら マスク取れ みんなの笑顔 見えてきた

生浜東小学校 五年

特選 竹下 宏大 新しい 考えを聞き 気づく価値
 優秀 村上 咲 意味がある 一つ一つに 夢がある
 優秀 戸町美校乃 分かり合い ちがう意見を 大切に

生浜東小学校 六年

特選 吉田 祐良 認め合い 高めあうのが 友達だ
 優秀 坂井 滉芽 人は人 みんなちがうのは あたり前
 優秀 葉田 佳乃 かんじかた みんなちがうから おもしろい

生浜小学校 四年

特選 錦戸 岳 感じ方 それぞれ違う 多様性
 優秀 溝口 結香 人と人 違う考え 認め合おう
 優秀 鹿森 悠生 友達の 気持ちと 考え 大切に

生浜小学校 五年

特選 平田 侑 皆違う 個性や思い 認め合おう
 優秀 土橋 優月 友達に 違う良いところ あるんだよ
 優秀 吉川 凜 お互いに いろんな個性 認め合おう

生浜小学校 六年

特選 川野辺紗優 認め合う 意見を尊重 人それぞれ
 優秀 内藤 萌果 ものさしで 相手をはからず 幸せに
 優秀 島津 琳 それぞれの 違う価値観 大切に

生浜中学校 一年

特選 高橋 和花 お互いを 認め生まれる 笑顔の輪
 優秀 戸上 凜 認め合い 一人一人を リスペクト
 優秀 高松 桃華 人は人 自分にはない 感じ方

生浜中学校 二年

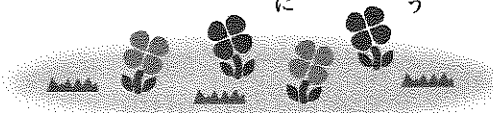
特選 浦田 桃菜 否定しない 人それぞれに 個性あり
 優秀 中井 玲菜 新しく チャレンジすること 見つけた
 優秀 上和田 青 それぞれの 生きるかたちを 認め合おう

生浜中学校 三年

特選 小林 真凜 認め合おう 独りじゃないし 一つじゃない
 優秀 岩本 和子 互いにさ 称えあおうよ 人生観
 優秀 水野 仁喜 考えよう いろんな視点で 見てみよう

生浜中学校青少年育成委員会・福祉部

応募総数、各学校・1学年10組の中からの特選1・優秀2作品を厳選な審査において選出しました



標語コンクール

福祉部部长 市川 富士夫

第22回の標語コンクールのテーマは「新しい価値観」です。今年度も、千葉市青少年相談員標語コンクールのテーマと同じにして取り組みました。

私たちは自分の「価値観」を持って生きています。しかし、自分と「価値観」が全てぴったり同じ人はいません。それぞれに異なる多様な「価値観」を持つ人とも、お互いに理解し、認め合い、尊重し合える社会を目指し自分の知らない視点や、発見によって大きく世界が開ける発想、異なる考え方に共感した体験などを綴ってもらいました。

今回のテーマ「新しい価値観」は、難しいと思いましたが、児童・生徒の皆さんには日ごろ感じたことや思っていることなどたくさん綴っていただきました。

この標語コンクールは生浜中学校区5校（小学校は4年生以上）の児童・生徒が7月上旬に作品作りに取り組んで頂き、7月21日に育成委員会福祉部を中心に審査を行いました。前掲の作品が特選・優秀作品に選ばれました。

「敬老会」 子供ボランティア



福祉部 事務局 竹下 英克

育成委員会では、子供たちとお年寄りとの交流を通して、子供たちの豊かな心を育む「子供ボランティア活動」を計画し、毎年行っています。コロナ禍で長く実施できていませんでしたが、今年度は多くの地域で「敬老会」が開催されることとなり、久しぶりの活動ができました。

小学生はお年寄りに渡すプレゼントを作ることで間接的に、中学生は敬老会当日に会場でお手伝いをする事で直接的にお年寄りとの心の交流を図りました。

お年寄りの方を思い浮かべながら一生懸命にプレゼントを作る小学生の姿、会場でお年寄り一人一人に合わせて優しく接する中学生の姿、そして何より嬉しそうに微笑むお年寄りの方の姿から、あらためてこの活動の重要性を痛感しました。

来年度以降もこういった地域と子供たちが関わり合うことのできる活動を大切に、皆さんと一緒に子供たちの成長を育んでいきましょう。

ボランティアをとおして学んだこと

生浜中二年 須藤 梨紗

私は敬老会への子どもボランティアに参加して、人の温かさを感じることができました。

今回のボランティアは、まず初めに敬老会の会場の入り口で参加者を迎え入れることから始まりました。ですが、実際にその場に立つてみると、緊張で自分から話しかけることができなませんでした。なかなか話しかけることができなまま受付をしていると、車椅子に乗っている女性が段差を通れずに困っていることに気が付きました。勇気を出して席まで案内すると、笑顔で「ありがとう」と言われ、緊張が解けてとてもうれしい気持ちになりました。

また、敬老会の終わりには、参加者の皆さんに小学生が作ってくれた折り紙を配りました。折り紙を受け取った参加者の方たちが、「ありがとう」と言いながら折り紙を眺め、大切にしまっている姿を見てとても心が温かくなりました。

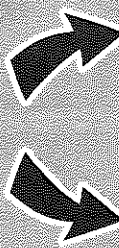
今回敬老会に参加してみて、周りをよく見て困っている人に気が付けることの大切さや、「ありがとう」は人を笑顔にしてくれることを学び、人の温かさに改めて気が付くことができました。

これからも、祖父母や身近な人に親切に接していき、敬老の日を大切に過ごしていきたいと思っています。



万一、事故発生の場合 次のように連絡をお願いします。

事故発生



- ・サポートセンター (293-5811)
- ・千葉中央警察署 (244-0110)
- ・千葉南警察署 (291-0110)
- ・浜野駅前交番 (264-9305)
- ・学園駅前交番 (292-5910)
- ・鎌取駅前交番 (292-2521)

学校

- ・生浜小 (264-7200)
- ・生浜西小 (264-0013)
- ・生浜中 (268-2200)
- ・椎名小 (292-0007)
- ・生浜東小 (266-4541)

◆ 編集後記 ◆

5月にコロナウイルスの感染症の扱いが5類に変更となり、今年度は各行事を以前と同じように実施することができました。育成委員会としても、この3年間思うようにできずにいた行事を一つ一つ実施し、人と人との交流の中で地域の子供たちを見守り育てることができる喜びを感じることができました。広報部としても、このような生浜中学校区育成委員会の思いや活動をこの広報誌を通じてお伝えしていきたいと思ひます。